

令和2年度土幌町予算審査特別委員会

令和2年3月10日

1 審査付託事件

- 認定第22号 令和2年度土幌町一般会計予算  
認定第23号 令和2年度土幌町国民健康保険事業特別会計予算  
認定第24号 令和2年度土幌町後期高齢者医療事業特別会計予算  
認定第25号 令和2年度土幌町介護保険事業特別会計予算  
認定第26号 令和2年度土幌町介護サービス事業特別会計予算  
認定第27号 令和2年度土幌町簡易水道事業特別会計予算  
認定第28号 令和2年度土幌町公共下水道事業特別会計予算  
認定第29号 令和2年度土幌町国民健康保険病院事業会計予算

2 出席委員(12名)

加藤 宏一 河口 和吉 大西 米明 伊藤 健蔵 清水 秀雄  
牧野 圭司 曾我 弘美 中村 貢 森本 真隆 大野 明  
矢坂 賢哉 秋間 紘一

3 欠席委員(0名)

4 説明のため出席した者

町長 小林 康雄 教育長 堀江 博文  
代表監査委員 佐藤 宣光

5 町長の委任を受けて出席した者

副町長 柴田 敏之 保健福祉センター長 高木 康弘  
総務企画課長 石垣 好典 会計管理者 三島 重浩  
町民課長 藤内 和三 保健福祉課長 堀江菜穂子  
健康介護担当課長 三島 裕子 産業振興課長 亀野 倫生  
建設課長 増田 優治 道路維持担当課長 佐藤 英明  
建設課施設担当課長 田中 敏博 子ども課長 高木 康弘  
特老施設長 佐藤 慶岩 病院事務長 土屋 仁志  
消防課長 土屋 政勝  
ほか、関係職員

6 教育委員会教育長の委任を受けて出席した者

参事 玉堀 泰正 教育課長 藤村 延  
給食センター所長 齋藤 英雄 高校事務長 上野 清子  
ほか、関係職員

7 農業委員会会長の委任を受けて出席した者

事務局長 角田 淳二

ほか、関係職員

8 職務のため出席した議会事務局職員

事務局長 矢野 秀樹 総務係長 宇佐見和重

9 会議録

会 議 の 経 過

(午前11時45分)

矢野議会 事務局長	ただいまから予算審査特別委員会の構成を行います。 予算審査特別委員会の構成に当たり、委員会条例第8条の規定に基づき、清水秀雄委員に臨時委員長をお願いいたします。 清水委員、委員長席にお着きください。
清水臨時 委員長	臨時委員長の職務を行います。 ただいまから予算審査特別委員会を開会します。 直ちに本日の会議を開きます。 これより委員長選挙を行います。 お諮りします。委員長選挙は、臨時委員長による指名推選にしたい と思います。ご異議ありませんか。 (異議なし)
清水臨時 委員長	異議なしと認めます。 したがって、委員長選挙は臨時委員長が指名することに決定しまし た。 委員長に加藤宏一委員を指名します。 お諮りします。ただいま臨時委員長が指名しました加藤宏一委員を 予算審査特別委員会委員長の当選人と定めることにご異議ありません か。 (異議なし)
清水臨時 委員長	異議なしと認めます。 したがって、ただいま指名しました加藤宏一委員が予算審査特別委 員会委員長に当選されました。 以上をもって委員長と交代します。 暫時休憩します。
	午前11時47分 休憩 午前11時47分 再開
加 藤	休憩前に引き続き委員会を開きます。

	委員 長	<p>これより副委員長選挙を行います。</p> <p>お諮りします。副委員長選挙は、委員長による指名推選にしたいと思います。ご異議ありませんか。</p> <p style="text-align: center;">(異 議 な し)</p>
	加 藤 委員 長	<p>異議なしと認めます。</p> <p>したがって、副委員長選挙は委員長が指名することに決定しました。副委員長に中村貢委員を指名します。</p> <p>お諮りします。ただいま委員長が指名しました中村貢委員を予算審査特別委員会副委員長の当選人と定めることにご異議ありませんか。</p> <p style="text-align: center;">(異 議 な し)</p>
	加 藤 委員 長	<p>異議なしと認めます。</p> <p>したがって、ただいま指名しました中村貢委員が予算審査特別委員会副委員長に当選されました。</p> <p>ただいまから予算審査特別委員会を行います。</p> <p>本委員会の運営について特段のご協力をお願いします。</p> <p>審査の方法は、理事者からの総括説明の後、各課より説明を受け、質疑の後、会計ごとに討論、採決を行いたいと思います。これにご異議ありませんか。</p> <p style="text-align: center;">(異 議 な し)</p>
説 明	加 藤 委員 長	<p>異議なしと認めます。</p> <p>したがって、審査の方法は各課より説明を受け、質疑の後、会計ごとに討論、採決することに決定しました。</p> <p>なお、説明員の交代につきましては、その都度休憩を宣言して行いますので、あらかじめご了承願います。</p> <p>令和2年度士幌町一般会計予算を議題とします。</p> <p>理事者の総括説明を求めます。副町長、登壇願います。</p>
	柴 田 副 町 長	<p>それでは、<a href="#">令和2年度予算の総括説明をさせていただきます</a>。令和2年度予算説明資料により説明をさせていただきます。</p> <p>1ページ目では、令和2年度当初予算全会計の総括表となっております。一般会計から病院事業会計まで記載をしておりますが、一般会計では72億5,900万円で、対前年度比1億4,200万円、2.0%増の予算となりました。</p> <p>国保会計は、病院会計の事務処理標準システム導入経費や北海道への医療給付費分の負担金、さらには病院事業会計の医療機器購入に伴う繰出金の減額により、前年度より6.5%減の10億1,818万4,000円の予算となりました。</p> <p>後期高齢者会計では医療給付の伸びによる連合会への納付金の増により4.6%増の1億522万1,000円、介護保険会計でも給付の伸びにより2.3%増の7億4,481万4,000円、介護サービス会計では設備改修工事に係る予算減により0.9%減の5億4,557万円となりました。</p>

簡易水道会計では、財産台帳の整備や道営土地改良事業負担金の増により、前年度比20.4%増の3億800万3,000円となりました。

下水道会計におきましては、下水処理施設整備工事が最終年を迎えるため、23.9%減の7億3,730万9,000円となりました。

病院事業会計におきましては、電子カルテシステムの導入が終了し、本年度は大きな設備改修等がないため、資本的収支で53.3%減となり、総体でも8.4%減の10億8,376万9,000円となりました。

全会計の総額は118億187万円で、率で1.6%の微減の予算総額となったところであります。

2ページ目は、令和2年度一般会計の歳入歳出別対比表であります。円グラフの外側が令和2年度分でありまして、前年度との比較となっております。上段のグラフが歳入であります。特定財源が町債の伸びにより微増となっており、下段のグラフが歳出でありまして、防災無線の整備等により投資的経費が伸びております。

3ページ目は、歳入歳出の款別の対比表であり、左側が歳入であり、特に備荒資金からの還付金を減額したことによる諸収入の減、防災無線整備に係る一般単独事業債の増により町債のウエートが3.2%の伸びとなっております。右側の歳出でも防災無線整備による総務費のウエートが上がっておりますが、そのほかについてはほぼ前年度と同様であります。

次に、4ページ、5ページをお開きください。性質別の歳出予算額調べであります。会計年度任用職員制度のスタートにより、今まで賃金が物件費でありましたが、この賃金がなくなり、旧臨時職員に係る賃金が報酬、給料及び手当の人件費に整理をされることにより、人件費が伸びてございます。反対に物件費が少なくなっております。普通建設事業費のうち単独事業の伸びは、防災無線の整備によるものであります。貸付金の増については、病院事業会計への貸付金1億円を当初から組み込んだことによるものであります。繰出金につきましては、料金改定による簡易水道事業特別会計及び建設事業費の減による公共下水道事業特別会計への繰出金減額によるものであります。そのほかについては、ほぼ前年度と同様であります。

6ページ、7ページは、節別の歳出予算額調べであります。報酬、給料、職員手当は、先ほど説明したとおり、会計年度任用職員制度になるために大きく増加をしております。旅費につきましても同様に、パートタイムの会計年度任用職員の通勤手当が旅費に計上されるため、増加をしております。この会計年度任用職員制度の運用に当たり、先ほど性質別予算額調べでも説明いたしましたけれども、本年度から賃金の節がなくなり、報酬、給料、職員手当と旅費の中で必要な経費が計上されることとなり、賃金以下の節の番号が繰り上がっております。なお、職員及び会計年度任用職員の給与等につきましては、

各会計予算書最後の予算に関する説明書の給与費明細書に会計年度任用職員以外の職員、会計年度任用職員に分けて明細を載せてありますので、後でご参照願います。この後各説明員より予算の内容説明がありますが、賃金の節につきましては説明を省略させていただきますので、ご了解をお願いいたします。次に、需用費のうち食糧費の減につきましては、前年度統一地方選挙の選挙事務に関わる食糧費が本年度はなくなったことによるものであります。委託料では、土地改良事業の農地耕作条件改善事業に関わる用地確定及び調査設計委託料の増によるものが主な増加要因であります。使用料及び賃借料では、教育関係の校務支援システム使用料やI C T機器の借り上げ料等の増によるものであります。工事請負費につきましては、防災無線に係る増でございます。貸付料につきましては、先ほど性質別で説明したとおり、病院事業会計への貸付金の増額であります。補償補填及び賠償金では、土地改良事業に係る工事における移転補償費等の増によるものであります。償還金利子及び割引料では、公債費の元金の減によるものでございます。当市及び出資金では、国保病院の病院事業会計事業債の償還額が増えたことにより、一般会計からの出資金についても増額となったところであります。積立金につきましては、本年度からふるさと納税に係る返礼品などの経費分を差し引いた残りを積立金とするために大きく減少しております。公課費では、公用車の車検整備の台数増による自動車重量税の増であります。繰出金については、先ほども触れましたけれども、主に簡易水道及び公共下水道特別会計への繰出金の減によるものであります。

次に、8ページの性質別歳出予算財源内訳ですが、防災無線に係る地方債が大きく伸びております。

次、9ページ、10ページでございます。ここは建設事業費に関わるものでありまして、まず1の補助事業であります。土幌南地区農地耕作条件改善事業に1億円、社会資本総合整備交付金事業として、新規事業が土幌西1線と継続事業合わせて4路線と橋梁長寿命化修繕は6橋と年次的に行う点検として32橋を見込んでおります。また、公営住宅建替事業として、若葉団地の公営住宅建て替え1棟4戸の建設費であります。このほか、G I G Aスクール構想に伴う小中高校へのネットワーク等整備事業としてL A N配線等に係る工事分で3,335万円となり、合計ではほぼ前年度並みの金額となりました。

次に、単独事業分としましては、庁舎の発電機の72時間運用するための燃料タンク増設事業に267万円、防災無線整備工事に2億3,700万円、認定こども園等へのエアコン整備事業に210万円、中土幌線20号西農道整備事業に3,500万円、町道関係では舗装の長寿命化に4,000万円、10ページに行きまして、(仮称)みどり団地の住宅団地造成事業などに約2,000万円、そのほか各学校の老朽化等に伴う改修事業な

どで前年度より約1億8,900万円増の7億4,390万円となりました。

道営事業では、ワッカ美加登線開設事業、土地改良事業の畑総では新規2地区と継続2地区及び営農用水、通作条件では川西6線、農道では継続1路線で、負担金の合計は1億7,550万円の前年度より微増となりました。

受託事業につきましては、記載のとおりでございます。

11ページの国費、道費による各種事業導入調達は、記載のとおりであります。

なお、町有林管理事業位置図は12ページ、土地改良施工位置図については14ページ、土木事業施工位置図については15ページ、若葉公営住宅建て替えについては16ページ、(仮称)みどり団地住宅造成工事については17ページに載せてございます。

ここで、13ページをお開き願いたいと思います。防災無線整備についてであります。下の配置図を御覧いただきたいと思います。親局を役場に設置し、ここからヌブカの里の再送信局を中継し、各家庭へ送信をするものであります。戸別受信機は2,800台購入し、全戸及び関係施設へ貸与し、役場、中土幌公民館、下居辺公民館には屋外拡声器を設置をする予定であります。

次に、18ページを御覧いただきたいと思います。GIGAスクール構想についてであります。事業の概要は、校内の通信ネットワーク整備と児童生徒1人1台の端末整備をするもので、財源については前段の校内通信ネットワーク設備では国の補助金が2分の1、残り2分の1に対して75%が学校教育施設等整備事業債、15%は財源対策債を充当するもので、それぞれ交付税措置があり、残り10%、全体でいえば5%が一般財源となります。詳細は20ページに記載をしておりますけれども、町単独費は一般財源分と交付税措置される以外の分を合わせまして計算上は20%となります。後段の端末整備につきましては、1台当たり4万5,000円の定額補助となっております。事業実施校は記載のとおりで、今後のスケジュールでありますけれども、21ページを御覧いただきたいと思います。本年度が小学5、6年生及び中学1年、2021年度が中学2年生、3年生、2022年度が小学3、4年生、2023年度が小学1、2年生、4年間にわたり端末を整備する計画であります。

詳しくは、この後各款別等の説明でそれぞれ説明員から説明をいたします。

以上で令和2年度一般会計予算の概要の説明とさせていただきます。

ここで13時15分まで昼食休憩を取ります。

加藤  
委員長

午後 0時02分 休憩

午後 1時15分 再開

説明

加藤  
委員長

休憩前に引き続き予算審査特別委員会を再開します。  
審議に当たりましてお願い申し上げます。質疑に当たっては、会議規則等に基づき、議題外にわたらないように、かつ簡潔に質疑されるようお願いいたします。また、質疑は1人1問とし、さらに質問があれば他の委員の質疑が終わってから許すことにし、関連で質問される場合は第1の質問者の質疑が終わってからされるようお願いいたします。質疑の際は、マイクボタンを押し、予算書のページ数を明示の上、簡潔明瞭をお願いいたします。

これより議事に入りますが、説明に当たり、新規事業については詳細な説明をお願いいたします。

最初に、[議会費、総務費の説明](#)を求めます。議会事務局長。

矢野議会  
事務局長

33ページ、議会費について議会事務局長、矢野よりご説明申し上げます。

1款1項1目議会費の予算総額は8,024万9,000円で、対前年度比85万3,000円の減額となっております。主な要因は、人事異動に伴う2節給料から4節共済費の一般職1名の人件費412万8,000円の減、この異動による会計年度任用職員1名の1節報酬から4節共済費で242万1,000円の増、1節から4節の職員分は前年度対比で170万7,000円の減となっております。議員分で3節、議員手当で12万8,000円の増、4節の議員共済組合負担金では標準掛率引下げに伴い、43万2,000円の減となっております。7節報償費の研修視察用謝礼は、道外視察によるもので、2万円の増となっております。8節旅費も道外視察によるもので、123万8,000円の増となっております。10節需用費の消耗品費は道外視察の資料代として6万8,000円の増、印刷製本費は消費税によるもので4万3,000円の増となっております。34ページをお開きください。13節使用料及び賃借料の自動車借上料は、道内視察の実施減により20万2,000円の減となっております。17節備品購入費は、マイク交換等がないことから、3万9,000円の減となっております。その他の節につきましては、おおむね前年同様の予算を計上したところです。

以上で説明を終わります。

加藤  
委員長  
石垣総務  
企画課長

総務企画課長。

総務企画課長、石垣よりご説明申し上げます。

2款1項1目一般管理費は、前年度対比2,428万円減の4億387万円を計上したところであります。1節報酬から4節共済費の人件費の合計では前年度対比2,016万8,000円減の3億2,271万3,000円で、内容としては3節、退職手当組合負担金が前年度は3年に1度の精算年であったこと及び会計年度パート職員2名減によるものであります。35ペ

ージに行きます。10節需用費のうち、電気料は契約先の変更により68万3,000円減の650万円で、その他はほぼ前年度と同様の額を計上したところであり、36ページに移ります。12節委託料は、会計年度任用職員制度に関わり、附属機関の非常勤特別職の整理に係る例規整備支援業務として148万円、情報セキュリティの徹底や文書の適正管理に向け、特定個人情報の取扱い点検業務に同じく148万円を計上、減額では文書管理の改善検討、会計年度任用職員制度の導入支援業務の終了ほかで、差引き108万7,000円の増額となったところであり、14節工事請負費は予算計上ありませんが、前年度の庁舎玄関前のタイル張り替え工事が終了し、464万4,000円の減額となっております。その他の節においては、前年度実績等を考慮し、計上したところであり、また、特定財源については、権限移譲交付金10万1,000円を充当しております。

37ページ、文書広報費は、前年度対比44万円減の487万9,000円を計上したところであり、前年度実施した町勢要覧の増刷がなくなったことによる10節、印刷製本費の減額で、特定財源については自衛官募集事務委託金を記載のとおり充当しております。

3目財産管理費は、前年度対比504万9,000円増の5,729万3,000円を計上したところであり、その主な内容としては、14節工事請負費で土幌消防庁舎の外装塗装工事800万円を新たに計上したほか、16節、土地購入費は補正予算で減額しました農畜産物加工研修施設駐車場の一部の国有地の購入費で783万6,000円を再計上、38ページ、17節備品購入費は本年度は公用車の購入予定がないことにより428万3,000円の減額となったところがございます。このほかの節においては、前年度実績等を考慮し、計上したところであり、特定財源につきましては、土地建物使用料及び貸付料、太陽光発電施設貸付料ほか、記載のとおり充当しております。

以上で説明を終わります。

加 藤  
委 員 長  
亀野産業  
振興課長

産業振興課長。

産業振興課長、亀野から説明をいたします。

38ページの4目町有林管理費につきましては、前年度比19万5,000円増の3,206万2,000円を計上したところがございます。増額の要因は、2節から4節までの人件費の増によるものであり、造林、間伐等の事業費はほぼ前年並みでございます。2節から4節までは、職員2人分の人件費であります。主な支出ですが、12節委託料では町有林管理事業の委託料など14万3,000円増の計252万3,000円、14節工事請負費では造林、下草刈り、間伐、保育間伐事業に10万6,000円増の1,387万1,000円、39ページの15節原材料費では造林用のカラマツなどの苗木44万3,000円を計上したところがございます。100年の森づくり事業につ

きましては、平成25年度から進めているもので、林道ワッカクネツプ線沿いの町有林約14haにおいて5月末に第7回町民植樹祭及び令和3年度の準備地ごしらせを行う経費として、10節で食糧費1万5,000円、11節で火災保険料13万円のうち2,000円、12節で100年の森整備委託料として77万7,000円、13節で簡易トイレ借上料8万8,000円、15節、造林用苗木44万3,000円のうち、ケヤマハンノキ苗木29万1,000円など、合計117万3,000円を計上したところでございます。それぞれの事業箇所、事業面積につきましては、予算説明資料12ページの令和2年度町有林管理事業位置図を参照いただきたいと思います。特定財源といたしましては、町有林造林事業補助金422万2,000円、立木売払い収入188万1,000円、間伐材売払い収入82万3,000円であります。

以上で説明を終わります。

加藤  
委員長  
石垣総務  
企画課長

総務企画課長。

総務企画課長、石垣よりご説明いたします。

5目公平委員会費は、前年度と同額の15万4,000円を計上したところであります。

6目企画費は、前年度対比1,264万円増の7,619万円を計上したところであります。増額の主な要因は、川西地区の無線インターネットの通信環境の改善に係る工事費1,000万円を計上したことによるものでございます。1節町民会議委員報酬は、町づくり総合計画の中間見直しに係る会議の開催回数の増加により、前年度対比37万6,000円を増額するものであります。11節役務費は、前年度対比234万1,000円の増で、ふるさと寄附PR広告料を110万円増額、移住等PR広告料100万円は17目地方創生推進事業費から予算の組替えによる増額、その他手数料137万8,000円の増額はふるさと納税を受付するポータルサイトを増やしたことによるものです。運搬料は、ふるさと納税に係る分で精査により113万9,000円の減となっております。40ページ、12節委託料は前年度対比21万円増額で、新たに起債システムの導入に12万1,000円を計上、重点プロジェクト推進事業委託料は町づくり総合計画の中間見直しに係る経費及び新たに著名人を講師に迎え、まちづくり講演会を開催する経費で200万円を増額、昨年12月に補正しましたふるさと納税管理支援業務委託料は当初予算に計上するもので150万円の増額、減額では財務書類作成支援業務211万2,000円、地域情報通信改善調査100万円となっております。13節使用料及び賃借料は、前年度対比41万2,000円の減額で、新たに起債システムの使用料に21万2,000円を計上、移住PRフェア等出展料30万6,000円は17目地方創生推進事業費から予算の組替えによる増額、減額では地域おこし協力隊に係る自動車借上料99万1,000円、コンピューター賃借料15万円となっております。18節負担金補助及び交付金は、2大まつり負担金で開

催経費の増加に伴い50万円増額したほか、前年度と同様の額を計上しております。その他の節においては、前年度実績等を考慮し、計上したところであり、特定財源は指定寄附金、移住体験住宅貸付料ほか、記載のとおり充当しております。

7目環境対策費は、前年度対比6,000円減の430万円で、前年度と同様の額を計上しております。特定財源については、太陽光発電施設貸付料を充当しております。

以上で説明を終わります。

加藤委員長  
藤内町民課長

町民課長。

町民課長、藤内より説明いたします。

41ページ下段、8目生活安全推進費は、予算額405万円、前年度対比37万6,000円を増額するもので、その主な要因は、これまで非常勤職員としていた交通安全指導員が本年4月から施行される会計年度任用職員制度により有償ボランティアとして委嘱されます。そのため、交通安全指導員に関わる1節報酬、8節旅費、17節備品購入費、18節負担金補助及び交付金を含めた前年度予算126万3,000円に対し、今年度鉏路市で開催される交通安全指導員研修会参加のため、車借上料、傷害保険料などにより27万7,000円を増額した150万円を42ページ、18節、交通安全指導員会助成金として新規に計上しています。また、同じく18節負担金補助及び交付金の消費生活相談広域化負担金については、道からの補助金の減額及び消費者相談員の人件費が増額になったことにより、町村の負担金が増加したため、17万2,000円を増額したもので、その他の節につきましては事業実績等を勘案し、前年度とおおむね同額を計上しています。41ページ下段に戻りまして、特定財源につきましては消費者行政活性化事業交付金12万4,000円を充当しています。

以上で説明を終わります。

加藤委員長  
石垣総務企画課長

総務企画課長。

総務企画課長、石垣よりご説明申し上げます。

9目情報管理費は、前年度対比1,239万8,000円減の5,652万1,000円を計上したところであります。その主な要因は、12節委託料では各システムのサーバー、ルーター及び行政専用ネットワークL G W A Nサーバーの交換などの情報システム整備の終了により788万1,000円の減額、プログラム変更委託料は給与システムの変更分のみで、前年度比100万円の減額、17節備品購入費はウィンドウズ7のサポート終了に伴うパソコン等の購入終了により、前年度比773万5,000円の減額によるものです。増額では、12節委託料で住民情報システム自治体クラウド事業が前年度対比347万6,000円の増額となっておりますが、これは前

年度に整備した各サーバー等の賃貸借及び保守分が増額となったものであります。下の43ページです。18節、地方公共団体情報システム機構負担金は、マイナンバー等の提供に係る機器設置関連事務費で、システム移行設計構築経費分59万2,000円を増額するものです。その他の節においては、前年度実績を考慮し、計上したところであります。特定財源については、国の社会保障・税番号制度システム整備費補助金220万8,000円を充当するものであります。

10目地域生活交通確保対策事業費は、前年度対比10万9,000円増の1,836万円を計上したところであります。その主な要因は、12節、運賃の改定によりコミュニティバス運行委託料49万9,000円の増額、18節、十勝バス、拓殖バスへの地域生活交通路線維持費補助金を事業者の予測により30万円減額したことによるものです。また、高齢者等移動支援実証事業助成金200万円は、対象者を70歳以上で身体障害者手帳1級から3級を所持される方、70歳以上で免許を返納した方などへ拡大するとともに、自宅から役場までのハイヤー代金6往復分を助成することで前年度に引き続き1年間の実証事業を行うものであります。特定財源については、国鉄土幌線基金利子収入及び同基金繰入金、愛のまち建設基金繰入金を記載のとおり充当するものです。

11目協働推進事業費は、前年度対比20万円減の1,401万5,000円で、実績に基づき、7節、リサイクル推進事業報償費20万円を減額したことによるものです。特定財源については、愛のまち建設基金繰入金ほか、記載のとおり充当するものです。

12目諸費は、予算額2億6,443万4,000円で、前年度対比2億5,595万1,000円の増額となっております。主な要因は、委託料及び工事費で防災無線の整備に係る費用を計上したことによるものであります。44ページに移ります。12節委託料は、防災無線工事に係る実施設計、工事施工監理、保守管理合わせて1,543万9,000円を計上したことにより、前年度対比1,294万2,000円の増額となっております。13節使用料及び賃借料は、更新時期を迎えるAED7台及び新たに設置する4台をリース方式に切り替えたことにより、57万3,000円の増額となったところであります。14節工事請負費は、役場庁舎の非常用発電機を72時間連続運転するための燃料タンクの増設工事に267万5,000円、住民への防災情報を伝達する無線システムとして屋外拡声器3か所、防災ラジオを全戸に貸与する防災無線整備工事に2億3,700万円を計上したところであります。なお、防災無線の仕組みについては、説明資料の13ページに載せておりますので、併せて御覧いただきたいと思います。18節負担金補助及び交付金は、北海道との災害時の通信手段として設置している衛星回線機器の更新に係る北海道総合情報ネットワーク工事負担金346万5,000円を計上したところで、これ以外の予算については前年度とほぼ同様になっているところであります。特定財源

については、愛のまち建設基金繰入金、一般単独事業債を記載のとおり充当したところであります。

13目財政調整基金費は、前年度対比8万4,000円減の26万8,000円で、利子分を基金に積み立てるもので、特定財源については基金利子収入を全額充当するものであります。

下の45ページに移ります。14目愛のまち建設基金費は、前年度対比2,998万7,000円減の3,019万1,000円で、指定寄附金などを基金に積み立てるものですが、本年度よりふるさと納税に係る指定寄附金の歳入計上額6,000万円のうち、返礼品などの経費を控除した額を積み立てることとしたため、大幅に減額になったものであります。特定財源については、同基金利子収入及び指定寄附金を記載のとおり充当するものです。

15目飯島賞贈呈基金費は、予算額5万円で、表彰者への記念品を購入するもので、特定財源については同基金利子収入及び繰入金を全額充当するものです。

16目減債基金費は、前年度対比2万9,000円減の55万2,000円で、利子分を基金に積み立てるもので、特定財源については基金利子収入を全額を充当するものです。

17目地方創生推進事業費は、前年度対比18万6,000円増の273万6,000円を計上したところであります。18節で、新たに国の交付金を5年間活用し、管内の町村と東京都台東区、墨田区の間で関係人口の創出を目的に十勝市町村会が主体で取り組む十勝地域と台東・墨田連携交流事業負担金に63万6,000円を計上、十勝・イノベーション推進事業負担金については、前年度に引き続き帯広市と管内町村の広域連携事業として実施する地域の創業支援や起業支援に取り組むものであります。移住支援事業助成金についても、前年度に引き続き東京23区内の居住者等が町内の事業者等に就職し、転入した場合に助成金を交付するもので、今年度は計画に基づき、2組分200万円を計上したところであります。なお、前年度に計上しておりました北海道と連携して実施する移住交流促進事業に係る運搬料、移住等PR広告料、移住PRフェア等出展料は、国の交付金対象事業の終了に伴い、企画費への組替えにより減額となっております。特定財源については、地方創生推進交付金、移住支援事業交付金を記載のとおり充当しております。

18目開町100周年記念事業費は、目の新設で113万7,000円を計上したところであります。令和3年度に実施する予定の開町100周年事業に向けた準備として、記念事業検討委員会委員の報酬ほか、90周年以降の町史続編の作成経費を計上したところであります。

以上で説明を終わります。

町民課長。

加藤  
委員長

藤内 町民課長	<p>町民課長、藤内より説明いたします。</p> <p>46ページ、2項1目税務総務費は、予算額4,890万9,000円、前年度対比13万8,000円を増額するもので、前年度とおおむね同額を計上したところであります。特定財源につきましては、土地精通者謝金2万円を充当しております。</p> <p>次に、2目賦課徴収費は、予算額1,711万6,000円、前年度対比496万1,000円を増額するもので、その主な要因は47ページ、12節委託料で地方税共通納税システム対応業務及び当初納付書コンビニ対応業務が終了したことにより219万5,000円の減額、令和3年度に3年ごとに行う固定資産の評価替えのため、家屋評価システムの評価替え対応として電算機保守点検委託料49万5,000円を増額、路線価格の鑑定評価事務委託料で49万9,000円を減額、国が進めている行政手続の電子化に伴い、関係機関とのデータ連携を行うための確定申告支援システム導入委託料として500万円と併せ、同システム保守点検委託料100万円を新規で計上、22節償還金利子及び割引料で町民法人税の予定納税に関わる還付金の増加により、町民税還付金100万円を増額したもので、その他の節につきましては事業実績等を勘案し、前年度とおおむね同額を計上したところであります。46ページに戻りまして、特定財源につきましては自動車臨時運行許可申請手数料3万円を充当しています。</p> <p>続きまして、48ページ、3項1目戸籍住民基本台帳費は、予算額3,586万8,000円、前年度対比1,680万9,000円を増額するもので、その主な要因は1節報酬から4節共済費の人件費で人事異動等により568万5,000円の減、12節委託料では戸籍法の一部改正による戸籍情報システム改修委託料642万4,000円、平成22年度に導入した戸籍総合システムが5年ごとの更新時期を令和3年2月に迎え、戸籍総合システムの機器更新として戸籍総合システム更新委託料1,210万円、戸籍システム証明交付印刷機設定委託料55万5,000円を新規で計上、個人番号カード等関連事務委託料は国の個人番号カードの概算見込みが大幅に引き上げられたことに伴い、312万2,000円を増額、その他の節につきましては事業実績等を勘案し、前年度とおおむね同額を計上したところであります。特定財源としまして、諸証明手数料273万3,000円、個人番号カード等関連事務事業補助金365万4,000円、戸籍情報システム改修委託料642万4,000円のほか、記載のとおり合計1,311万4,000円を充当しています。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
加藤 委員長 石垣 選挙管理	<p>選挙管理委員会事務局長。</p> <p>選挙管理委員会事務局長、石垣よりご説明申し上げます。</p> <p>4項1目選挙管理委員会費は、前年度対比51万3,000円増の540万9,</p>

委員会 事務局長	000円で、2節給料から4節共済費までの職員1名分の人件費を除くとほぼ前年と同様となっております。参議院議員通常選挙費から町議会議員選挙費は、廃目でございます。
加藤 委員長 石垣総務 企画課長	<p>以上で説明を終わります。</p> <p>総務企画課長。</p> <p>総務企画課長、石垣よりご説明申し上げます。</p> <p>50ページ、5項1目統計調査総務費は、前年度対比423万1,000円増の1,128万6,000円の計上をしたところでございます。本年度は5年に1度実施されます国勢調査に関わり、統計調査員報酬344万円のほか、必要な経費を増額計上しているもので、特定財源として国勢調査委託金ほか、合わせて507万円を充当するものであります。</p>
加藤 委員長 矢野監査 委員会 事務局長	<p>以上で説明を終わります。</p> <p>監査委員会事務局長。</p> <p>50ページ、監査委員費について、監査事務局長、矢野よりご説明申し上げます。</p> <p>2款6項1目監査委員費の予算総額は210万5,000円で、対前年度比21万7,000円の減となっております。主な要因は、8節旅費で21万1,000円の減額、これは4年に1回、改選時に出席しております全国町村監査委員研修に令和2年度には出席しないことによるものでございます。その他の節につきましては、おおむね前年同様の予算を計上したところ です。</p>
質 疑	<p>加藤 委員長 牧野委員</p> <p>説明が終わりましたので、議会費、総務費について質疑を行います。ありませんか。7番、牧野委員。</p> <p>44ページの14節、防災無線の整備工事なのですが、防災ラジオを各家庭に貸与と屋外拡声器の設置ということで、主に防災、災害が発生したとか、あと災害が発生しそうなときなどの防災に関する情報を伝達するかと思いますが、そのほかに防災以外の活用方法って何か考えていますか。</p>
加藤 委員長 石垣総務 企画課長	<p>総務企画課長。</p> <p>総務企画課長、石垣よりお答えいたします。</p> <p>防災無線の整備ですが、主には災害対応に活用するものでございますけれども、それ以外に今般のコロナウイルスの関係ですとか、あと防災といいますか、防犯の関係ですとか、そういうものにも、それぞれ戸別に受信機を配置しておりますので、そういうものにも活用していきたいというふうに考えているところであります。</p> <p>以上です。</p>

加藤委員長 河口委員	<p>2番、河口委員。</p> <p>39ページの7節報償費についてなのですが、ふるさと寄附報償で1,800万円ということで、これ前年同様であります、寄附額について大幅に昨年増えているということでありますので、報償費が同額ということはどういうことなのかをちょっと説明をいただきたいと思えます。</p>
加藤委員長 石垣総務 企画課長	<p>総務企画課長。</p> <p>総務企画課長、石垣よりお答えいたします。</p> <p>報償費の1,800万円の計上ということですが、今年の今年度の予算、寄附額の見込みでは1億8,000万円程度に達するだろうというふうに思っているのですが、あくまでもこれ当初予算の計上でありまして、当初予算では寄附額6,000万円を見込んでおります。それで、そのうちの返礼品の割合というのが30%以内というふうになっておりますので、その30%以内、結局6,000万円の30%で1,800万円をここで計上させていただいたということでございます。</p>
加藤委員長 河口委員	<p>2番、河口委員。</p> <p>当初予算ということで理解はできるのですが、前年度よりも、平成30年度よりも令和元年度増えているということが、その原因がポータルサイトを2つ増やしたことによる寄附額の増額ということで、一過性のものではないということも考えれば、今年度も同程度の寄附額が見込めるといふふうにも考えられるのですが、金額は相変わらず変わらないということで理解してよろしいですか。</p>
加藤委員長 石垣総務 企画課長	<p>総務企画課長。</p> <p>そのとおりでございます。今般、今年度4月に総務省から基準ですとか、そういうのが示されてございますので、またそういう状況になるかもしれないということもありますので、過大な寄附額の見積りは設定していないで、取りあえずといいますか、当初予算では6,000万円として設定させていただいたということでございます。</p>
加藤委員長 森本委員	<p>10番、森本委員。</p> <p>41ページ、18節の一番下にあります前年度より開始されました旧小学校施設等利活用推進補助金であります、現在までに問い合わせ等がどの程度あったのか、また廃校になった地域との話合いというものがどういう現状であるのか説明をお願いします。</p>
加藤	<p>担当主査。</p>

委員長  
郷原  
担当主査

総務企画課担当主査、郷原よりご説明申し上げます。

今委員よりご質問ありました部分でございます。まず、現在まで申込み、または利活用に向けた前向きな検討をしているという部分での企業からのお話は今のところ受けておりません。この中で、前回令和元年9月に東京のほうで行われました廃校マッチングイベント、こちらのほうにも参加させていただきまして、企業利活用のPRをさせていただいていたところでございます。ただ、その中で企業様のほうのニーズをはかったところ、やはり北海道までの交通アクセスですとか、冬期間の利活用についての課題が非常にネックになっているというところがございまして、なかなか利活用までのお話が具体的なものがないというところでございます。

また、地域の皆様とのお話というところでありまして、基本的には企業様等からの利活用の申込みがあった時点で、より具体的にどういった方向でこの廃校施設を使っていくかという部分が見えた段階で皆様と具体的なお話をさせていただければなというふうに考えてございます。

以上でございます。

加藤  
委員長  
森本委員

10番、森本委員。

マッチングイベントの中で、本市の企業の方からはネックな部分があるというお話でありましたけれども、そのネックな部分を解消していくことができれば利用していただける可能性があるということです。どういう方法を取ればそのネックを解消していけるかという部分も今後検討していただきたいと思っております。

また、この春で佐倉地区も廃校になるわけですが、4地区について地域からの利用についての希望等は現状ないということでしょうか。

加藤  
委員長  
郷原  
担当主査

担当主査。

担当主査、郷原よりお答えさせていただきます。

現在までに4地区から具体的な利活用のお話についてはございません。

加藤  
委員長  
森本委員

10番、森本委員。

地域としても、なかなか大きな建物でありまして、どういう利活用ができるかというところ、どなたかが主導を取って、この場合公民館等になると思うのですけれども、主導していかなければなかなか議論するきっかけにならない。できれば行政がきっかけづくりをして、それぞれの地域で利活用について本当に活用したいのか、企業が手を挙

<p>加藤 委員長 小林町長</p>	<p>げるのを待つのかという選択もしていけるように行政のほうで何とかきっかけづくりをして進んでいただきたいと思います。</p> <p>町長。</p> <p>前年度も500万円の予算措置をしたのですけれども、具体的には利用するというのはなかったのでありますけれども、いずれにしても小学校4つですけれども、制度それについてはいろんな角度で利用が図られるよう、PRもいろいろ努めていきたいというふうに思っています。</p>
<p>加藤 委員長 河口委員</p>	<p>2番、河口委員。</p> <p>47ページの12節委託料の部分で、今課長のほうからの説明でコンビニ収納の対応のシステムだかが終了によるものということで説明がありましたが、この辺もう少し具体的に教えていただきたいと思います。恐らくコンビニ収納ができなくなるということではないと思いますので、お願いします。</p>
<p>加藤 委員長 藤内 町民課長</p>	<p>町民課長。</p> <p>町民課長、藤内のほうよりお答えさせていただきます。</p> <p>コンビニ収納の関係ですけれども、納税者への利便性の向上を図るため、平成26年度よりコンビニ収納を開始させていただいています。それで、年々増えてきており、平成30年度の実績では約1,050件の利用がありました。それで、今後も増えていくということが予想されるため、今までは十勝管外とか道外、それとあと希望される方にコンビニ収納できる納付書を送っていたのですけれども、令和2年の4月からの当初納付から全納付書についてコンビニ収納できる納付書を送るということで、その改修費を今年度予算計上させていただいて、システムのほうで完了したということで、事業終了ということで減額になっております。やめるというわけではなくて、全納付書をコンビニ対応にしたということでご理解ください。よろしく申し上げます。</p>
<p>加藤 委員長 大西委員</p>	<p>3番、大西委員。</p> <p>1ページの一借が士幌町の限度額が15億円なのですけれども、士幌町の皆さん、ほかの町村から見たら裕福な町なのだろうなって思っているのですけれども、そこで限度額の15億円を士幌町でここ2、3年の間でその限度額に近いだけの一借をしているのか。15億円って限度額つくっている以上はそうなのだと思うけれども、会計管理者で一借するのだと思うけれども、その辺どのぐらいずつ借りているのか、ちょっとお聞きします。</p>
<p>加藤</p>	<p>総務企画課長。</p>

委員長  
石垣総務  
企画課長

総務企画課長、石垣よりお答えいたします。

一借の関係ですけれども、ちょっと去年の資料ないのですが、今年については1月の上旬から2月の中旬までを4億円を借入れしまして、その4億円を返すためにまたさらに8億円を借入れして、これは7月の頭……そうです。この時期収入とといいますか、入ってくるものが少ないものですから、変わりに支出があるということで、4月の頭まで、要は新年度の交付税の1期目が入ってくるまでの間、補助金ですとか起債ですとかという時期が遅いものですから、その間の資金のつなぎとして1月から4億円、4億円を払うために8億円ということで、差引き4億円を4月の上旬まで借りてつないでいるというのが実態でございます。

加藤  
委員長  
大西委員  
加藤  
委員長  
増田  
担当主幹

3番、大西委員。

ところで、一借の金利って幾らですか。

総務担当主幹。

総務企画課、増田よりお答えをいたします。

今年の一借の金利でいきますと0.245%でございます。大体毎年それに近い率でございます。

加藤  
委員長  
大西委員

3番、大西委員。

0.24の金利払うのなら、今年も予算で2,000万円、備考組合に納付しますけれども、備考組合を取り崩すほうがいいのでないですか、どうです。

加藤  
委員長  
石垣総務  
企画課長

総務企画課長。

総務企画課長、石垣よりお答えします。

今し方金利については0.245、備荒資金組合については1%なのです。普通分と超過分がありますけれども、普通分については1%の金利でございますので、それを活用するよりは縁故資金、市中資金を借りてつないだほうが安いということでございます。

加藤  
委員長  
大西委員

3番、大西委員。

今年が目玉として防災無線ということで、2億何ぼかけて防災無線やるのですけれども、町民に防災の報告、いろいろこういうことが起きると連絡するのは、それは一つの方法なのですけれども、もし何か起きたときにそれをどうしていくのかという2つがないと防災を防げないのだと思うのです。町民を守れないのだと思うのです、命を。そのために、今あるとすれば消防団と消防組織、あとは建設業界や何か

との契約、何か町はやっていますけれども、それが一つになって、もし万が一のときにどうやって、無線はこういう災害起きますよって言って、それを現実にしていくのかどうかというときに、そのやつをどう動かせるのか。それがなかったら、何ぼ教えても意味ないのだと思うのです。その辺はどう町長考えていますか。

加 藤  
委 員 長  
小林町長

町長。

防災対策は、1つは防災無線をするというのは災害の情報を町民の皆さんに知らせるといことなのでありますけれども、知らせ方として通常のパッケージと、それと併せてオリジナルのようなものを発信できるということで、何かといたら、今大西委員が言ったように消防団の動きだとかということではありますが、いずれにしても防災無線もそうなのですけれども、消防団だとか消防署を含めてそういう防災対策の中でどう防災無線を生かしていくかというのは、関係機関の皆さんも含めて有効に利用できるよう、よく検討してまいりたいと思います。

加 藤  
委 員 長  
大西委員

3番、大西委員。

先日ですが、消防団の幹部講習会で九州の阿蘇のすぐ下の村のまちなのですけれども、そこで元の消防の団長が来て講演してくれました。それで、6,000人何ぼのところ255人の消防団いるのですけれども、分団が8分団あって、町の職員も1分団つくっているのです。ですから、もし何かあったときに、消防団だとか、署だとか、地域防災の組織だとかに町に分団があることによって連携がうまく取れるのだということで、あそこも今まで訓練をやったことないのですが、その村長さんも元消防団長だったらしいのです。だから、その辺はうまくいって、うまく連携ができる組織づくりができた。

それが災害になる前に一回全部でやってみろって半年前にやったやつが、偶然そこで震度6で地震だと思ったら震度7、大きい地震が来て災害になって、大方の家が倒壊したらしいのですけれども、その地域は下敷きになった人があまりいなかった。下敷きになったけれども、助けて、訓練の結果が出たのだという説明がありましたけれども、土幌町も、私が消防団だから言うわけでありけれども、団員自体が農村の団員が全然出てきてくれませんので、農協も出してくれませんから、町の団員だけで何かあったら守るとい、火災でも大方が農家で、町はないのですけれども、町の消防団員だけで消しているということで、町もそういう中に関わってきてもらわないと、いざというときに災害を防ぐことができないのでないかなと思うのですけれども、あその九州は六千何百人のまちで、15人の消防団員に職員になって、防災を兼ねて団員になっているらしいのですけれども、それを町長もそろそ

加藤 委員長 小林町長	ろ考えてほしいなと思っているのですけれども、どうです、町長。 町長。
加藤 委員長 森本委員	前にも一回議会でも議論させたのだけれども、町職員については町の対策本部の中に張りつけるという、そういうふうになっているのですけれども、ただ、今言われたように消防団員が減るという中ではいろんなことを考えていかなければならないのでありますけれども、町と消防団あるいは消防署の連携をうまくやれるようなことについて、もう少し私もいろんな関係機関とも連携しながらちょっと検討させていただきたいと思います。
加藤 委員長 増田 担当主幹	10番、森本委員。  45ページ、17目18節、十勝地域と台東・墨田連携交流事業負担金であります。まずなぜこの地域との交流であるのかという部分も含めて詳しく説明をお願いいたします。  担当主幹。  総務企画課、増田よりご説明をいたします。  十勝地域と東京の台東区、墨田区との連携事業についてでございますが、東京23区の区長会から町村会に連携事業を展開したいという申入れがあったところからスタートしております。十勝18町村と東京台東、墨田が連携をして、国の地方創生推進交付金を活用する中で令和2年度から6年度までの5か年事業として取り組む事業でございます。
加藤 委員長	十勝地域と台東、墨田の人、それから企業、団体が深い交流を持続的に展開すると、そして関係人口の創出と拡大を目指すという事業でございます。事業の柱としましては、江戸の伝統を生かした十勝の産品による食の創造ですとか、十勝、東京とスポーツ、アウトドア交流の拡大事業、それから戦略的交流事業と、大きく分けて3つの柱で事業が展開される予定でありまして、令和2年度につきましては2年度の事業費総額で1,842万5,000円になるわけですが、その分本町の分担金、負担金として今回予算計上させていただいているというところでございます。その半分が推進交付金が活用できるというところでございまして、本年度、令和2年度につきましては新しい食文化の創出事業ということで、台東、墨田、向こうに向いて十勝ウイークというものを実施されるというところで、こちらの産品と向こうの事業者との交流ですとかを実施する予定でございます。  以上です。  10番、森本委員。

森本議員	今年度については伝統に基づいた食文化の交流等というふうにお聞きいたしました。令和6年までの期間の中で具体的に土幌町が負担金を投じることで生じる恩恵といますか、どのような成果を本町としては見込んでいるのか、現時点で成果目標を教えてくださいと思います。
加藤委員長	総務企画課主幹。
増田担当主幹	本町としてどのようにこの事業に関わっていくかというところは、今のところ具体的なものはありませんけれども、台東、墨田の十勝ウィークというものが開催されるということで、これから詳しい事業内容が肉づけされるというところでもありますけれども、土幌の産物を農畜産物含めて向こうで紹介をして、それを活用する企業、団体なりが出てくれば、新たな販路拡大ですとか交流人口につながるのではないかと考えておまして、今年に関しましてはそういう事業に乗っていただければというふうに思っております。
加藤委員長 森本委員	10番、森本委員。 せっきく十勝地域での取組の中で土幌町も分担金、負担金を投じるわけですから、ただ負担金出ただけだねというふうになってしまうような工夫もこれからぜひ検討していただきたいなというふうに思います。
加藤委員長 矢坂委員	12番、矢坂委員。 40ページの14節工事請負費ですけれども、1,000万円、地域情報通信向上対策整備事業ですけれども、これ中音更地区のことなのですが、具体的にどのような設備の整備の工事なのか、具体的に教えてくださいと思いますけれども。
加藤委員長 石垣総務 企画課長	総務企画課長。 総務企画課長、石垣よりお答えいたします。 現在無線のインターネットの事業を業者に委託しながら進めているわけですけれども、大変通信速度が遅いということで、苦情といますか、そういう話を大変いただいておりますので、具体的には通信速度を上げる工事を実施したいということでもあります。それぞれの通信局の送信機を容量の大きいものに取り替えて、理論値ですけれども、大体5倍ぐらいの速度になるぐらいの送信機に取り替えるというのが主な内容でございます。
加藤	以上です。 12番、矢坂委員。

委員長 矢坂委員	それは、地域の一般家庭のインターネットの通信速度の改善ということによろしいでしょうか。
加藤委員長 石垣総務 企画課長	総務企画課長。 そのとおりでございます。
加藤委員長 矢坂委員	12番、矢坂委員。 速度の改善ということですが、具体的に例えば今4G、それがこれから5Gの通信のほうになっていくということで、それには大変な設備投資もかかっているということで、これからの農村環境の整備という部分では次世代の課題になってくるのかなというふうに思いますけれども、例えば下居辺地区でもそういった環境不利な通信のところって多々あるわけございまして、それらのことについてもこのような事業の中で続けて考えていくようなことになるのか、それとも今回は中音更地区の一部の改善というところだけで考えておられるのか、今後の展開というか、もし考えていることありましたら、ちょっと教えていただきたいと思っておりますけれども。
加藤委員長 石垣総務 企画課長	総務企画課長。 総務企画課長、石垣よりお答えします。 先ほど委員のほうから中音更地区と言われたのですけれども、地域的には川西地区全体ということで捉えていただきたいというふうに思います。そのエリアで、中音更、新田、西上ですか、の地区で利用されている無線のインターネットのご利用者様向けに、ちょっと通信速度が遅くなっているということでございますので、その通信速度の改善を図るために実施するもので、スピード的にいえば、光とか、そこまでは届かない昔でいうADSL並みの速度を確保したいということでもあります。本当からいえば、光ケーブルというような要望もありますけれども、多額な設備経費がかかりますので、今運用している無線のインターネットを利用させていただいて、その機器を更新することによって通信速度が改善できるということでもありますので、当面この工事を実施して利用させていただきたいというふうに思っているところでございます。また、Wi-Fiとか、そういう環境についてはまた別な話なものですから、今のところそういう計画はございません。 以上であります。
加藤委員長	そのほかありませんか。

		(な し)
説 明	加 藤 委 員 長	なければ、これで議会費、総務費の質疑を終了します。 ここで説明員交代のため暫時休憩します。あわせて、午後2時25分まで休憩といたします。
		午後 2時09分 休憩 午後 2時25分 再開
	加 藤 委 員 長 堀江保健 福祉課長	休憩を解き委員会を再開します。 次に、 <b>民生費、衛生費について説明</b> を求めます。保健福祉課長。 保健福祉課長、堀江よりご説明いたします。 51ページをお開き願います。3款1項1目社会福祉総務費は、対前年度比932万8,000円増の8,381万4,000円計上しております。主に、人事異動に伴う1節から4節の人件費で合わせて810万4,000円の増、52ページに移っていただいて、14節工事請負費で100万円の計上、これは総合福祉センターに災害等で停電になった場合の電源を確保するため、非常用電源切替え盤を整備するためのものです。そのほかは、おおむね前年同様の額を計上しております。51ページに戻っていただいて、特定財源につきましては民生児童委員活動経費負担金141万円、ひとり親家庭等医療給付事業補助金94万5,000円ほか、記載のとおり見込むものであります。 以上で説明を終わります。
	加 藤 委 員 長 藤 内 町民課長	町民課長。  町民課長、藤内より説明をいたします。 53ページ、2目国民年金費は、予算額909万1,000円、前年度対比15万円を増額するもので、前年度とおおむね同額を計上しています。特定財源につきましては、国民年金事務委託金291万2,000円を充当しています。 以上で説明を終わります。
	加 藤 委 員 長 堀江保健 福祉課長	保健福祉課長。  保健福祉課長、堀江よりご説明いたします。 3目障がい者福祉費は、対前年度比234万9,000円増の2億8,797万9,000円を計上しました。これは、主に19節扶助費の増額によるものです。54ページに移りまして、19節扶助費では、主に地域生活支援事業給付費のうち、日中一時支援事業の利用に関する給付で1人当たりの利用時間の増加と利用人数の増加によるもので、対前年度比230万4,000円増の2億7,024万8,000円を計上しています。他の節につきましては、おおむね前年同様の額を計上しております。53ページに戻って

ただいて、特定財源につきましては国の障害者介護給付費負担金1億199万6,000円、道の障害者介護給付費負担金5,099万8,000円、重度心身障害者医療給付事業補助金870万円ほか、記載のとおり見込むものであります。

54ページ、4目老人福祉費は、対前年度比104万1,000円増の1,699万2,000円を計上しました。7節報償費は、敬老祝金等の対象者増により、対前年比25万7,000円増の437万2,000円を計上、19節扶助費は高齢者緊急通報装置設置事業費が前年度比7万3,000円増の93万8,000円、施設入所措置費が前年比66万円増の456万円を計上、他の節につきましてはおおむね前年度同様の額を計上しております。特定財源は、老人ホーム入所措置費用負担金141万円、老人クラブ運営費補助金39万3,000円でございます。

以上で説明を終わります。

加藤  
委員長  
石垣総務  
企画課長

総務企画課長。

総務企画課長、石垣よりご説明申し上げます。

5目老人福祉施設費は、特別養護老人ホームの介護サービス事業特別会計への介護サービス事業及び施設整備費の繰出金で、前年度対比1,320万円減の9,997万7,000円の計上で、特定財源については愛のまち建設基金繰入金110万円を充当するものであります。

以上で説明を終わります。

加藤  
委員長  
堀江保健  
福祉課長

保健福祉課長。

保健福祉課長、堀江よりご説明いたします。

6目後期高齢者医療費は、対前年度比683万7,000円減の1億456万円を計上しました。18節負担金補助及び交付金は、療養給付費負担金として給付見込みの減により、前年度比809万8,000円減の6,924万3,000円を計上しています。27節繰出金は、合わせて対前年度比126万1,000円増の3,531万7,000円を計上しました。これは、後期高齢者医療事業特別会計への繰出金で、それぞれに充当するものです。特定財源につきましては、保険基盤安定負担金1,776万7,000円を見込むものです。なお、予算説明資料25ページに後期高齢者医療の費用負担として一般会計分の会計の流れも記載しておりますので、ご参照願います。

7目国民健康保険費は、対前年度比662万1,000円減の6,364万8,000円で、国民健康保険制度のルールに基づく特別会計への繰出金で、それぞれに充当するものです。特定財源としまして、保険基盤安定負担金の保険者支援分及び保険税軽減分としてそれぞれ記載のとおり見込むものです。

8目介護福祉費は、対前年度比234万9,000円減の3,805万9,000円を計上しました。56ページに移ってただいて、主に人事異動に伴う2

節から4節までの人件費が人事異動により合わせて前年度比480万円の減、介護サービス計画システムの更新により、12節委託料で前年度比185万9,000円増の385万1,000円、13節使用料及び賃借料で前年度比55万4,000円増の75万9,000円を計上。他の節につきましては、おおむね前年同様の額を計上しております。55ページに戻っていただき、特定財源としまして介護予防サービス計画収入見込み191万9,000円を見込んでいます。

57ページに移っていただいて、9目介護保険費は、対前年度比478万1,000円増の1億2,032万7,000円で、19節扶助費は前年度実績により前年度比24万2,000円増の180万円を計上、27節繰出金は前年度比45万3,000円増の1億1,823万2,000円で、介護保険制度のルールに基づく特別会計への繰出金としてそれぞれに充当するものです。他の節につきましては、おおむね前年度同様の額を計上しています。特定財源につきましては、低所得者保険料軽減負担金255万4,000円ほか、記載のとおり見込んでいます。

10目居宅介護支援事業費は、対前年度比748万5,000円増の2,700万2,000円を計上しております。主に1節から4節の人件費で前年度比725万6,000円の増額と12節委託料で介護サービス計画システムの更新により、前年度比29万2,000円増の48万8,000円を計上、他の節はおおむね前年度同様の額を計上しております。特定財源につきましては、居宅介護サービス計画作成に係る収入などを記載のとおり見込んでいます。

以上で説明を終わります。

加藤  
委員長  
藤村  
教育課長

教育課長。

教育課長、藤村から58ページ、2項1目児童福祉総務費のうち、教育課、学童保育所に係る分について説明いたします。

本年度6,287万8,000円で、前年度対比321万4,000円の増となっておりますが、教育課分の増額要因は、佐倉小学校が土幌小学校へ統合されることにより、土幌学童保育所の通所人数が多くなることと児童の安全、安心を確保するための職員を増員及び委託先の人件費が増額見込みのため338万8,000円を増額したもので、委託料のほかは前年度とおおむね同額を計上しております。特定財源の内訳は、学童保育所使用料など、記載のとおり見込んでおります。

以上で教育課分の説明を終わります。

加藤  
委員長  
高木  
子ども  
課長

子ども課長。

1目児童福祉総務費、残りの費用について、子ども課長、高木からご説明をいたします。

子ども課所管に係る予算は4,271万7,000円で、対前年度比17万4,00

0円の減となっています。12節、中土幌保育園運営費委託料では3歳以上児の副食費加算と3歳未満児の増により38万5,000円増の4,197万3,000円、59ページに移りまして、19節扶助費、町外施設型給付費は、土幌町内に住所を有する園児1名が音更町内の幼稚園へ通園することから、音更町内の施設へ給付する費用で、前年より1名減で、対前年度比56万9,000円減の66万3,000円を計上。特定財源につきましては、国、道の中土幌保育園運営費負担金などを記載のとおり見込んでいます。

2目認定こども園費については、本年度予算2億1,873万3,000円で、対前年度比1,921万9,000円の増額となっています。主な要因は、職員人件費、給食委託料、工事請負費の増によるものです。57ページに移りまして、1節報酬から4節共済費の人件費の合計は1,195万7,000円増の合わせて1億8,250万4,000円で、主な要因は準職員を昨年10月7名、本年4月5名正職員とすることと会計年度任用職員制度の開始によるものであります。10節需用費のうち、電気料は契約先の変更により25万1,000円減の160万円。その他は、ほぼ前年同様の額を計上しました。60ページをお開き願います。12節委託料の管理業務委託料は、人件費などの増で13万5,000円増の435万円、次のページに移りまして、こども園給食賄い委託料では川西、上居辺へき地保育所の給食約40人分をこども園で調理することに伴い、調理員を1名増することと材料費を1食当たり10円増の230円とすることにより462万8,000円増の1,865万9,000円、新たに保育所給食総合管理システムを導入するため31万円を計上しました。14節工事請負費では、園庭遊具移設工事75万円のほか、新たにエアコン取付け工事として3歳未満児の保育室3室と子育て支援ルーム及び病後児保育室に冷房用エアコン合計5台の設置に150万円を計上したものです。その他の節においては、前年実績等を考慮し、計上しております。次に、特定財源ですが、59ページに戻っていただきまして、2号、3号認定子ども使用料と道からの交付金などを記載のとおり見込んでいるところであります。

61ページをお開き願います。3目へき地保育所費については、本年度予算額5,746万7,000円で、対前年度比827万4,000円の増額となっています。主な要因は、職員人件費と委託料の増によるものです。1節報酬から4節共済費の人件費の合計は123万6,000円増の3,797万1,000円、10節需用費、賄い材料費は給食及び副食ですが、昨年10月から副食費を全額町負担としたことから84万円増の103万8,000円、62ページをお開き願います。12節委託料の上居辺へき地保育所運営委託料は、支援児対応の保育士1名と処遇改善などの人件費の増額などにより540万円増の1,540万円、14節工事請負費のエアコン取付け工事は川西及び上居辺保育所の3歳未満児の保育室にエアコンを設置するため、2台60万円を計上。そのほかの節においては、前年実績等を考慮して計

加藤委員長	<p>上しております。次に、特定財源ですが、61ページに戻っていただきまして、主な財源は前年と同様にへき地保育所使用料、国、道からの特例地域型保育給付費負担金及び太陽光発電電力売払い収入等を記載のとおり見込んでおります。</p> <p>以上で説明を終わります。</p> <p>保健福祉課長。</p>
堀江保健福祉課長	<p>保健福祉課長、堀江よりご説明いたします。</p> <p>6目児童手当費は、対前年度比240万円減の9,000万円を計上しています。児童数の減による減額となっております。特定財源につきましては、児童手当負担金をルールに基づき、記載のとおり見込んでいるところです。</p> <p>63ページに移っていただいて、5目子育て支援推進費は、初めに保健福祉担当分をご説明させていただきます。2節から4節人件費は、新たに子育て担当保健師の人件費として保健衛生費より組み替え、1名分を計上しております。7節、母子健康教育講師謝礼はパパママ教室講師謝礼で前年と同額の3万9,000円を計上、10節需用費、64ページに移っていただき、14節工事請負費、17節備品購入費については総合福祉センター内に母子保健型の子育て包括支援センターを開設するため、施設の改修費用等の経費としてそれぞれ計上しております。他の節は、おおむね前年度同様の額を計上しております。特定財源につきましては、国及び道の地域子ども・子育て支援事業補助金を記載のとおり見込んでいるところです。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
加藤委員長 藤内町民課長	<p>町民課長。</p> <p>町民課長、藤内より5目子育て支援推進費の町民課所管事業について説明いたします。</p> <p>7節報償費、子育て支援祝金として予算額500万円、前年度と同額を計上しています。交付対象予定人数は、出生で38人、新入学で18人を見込んでいます。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
加藤委員長 高木子ども課長	<p>子ども課長。</p> <p>5目子育て支援推進費の残りの費用について、子ども課長、高木からご説明いたします。</p> <p>子ども課所管に係る予算は、対前年度比38万4,000円増の2,335万9,000円となっております。1節報酬、子ども・子育て会議委員報酬は第2期の子ども・子育て支援事業計画の策定が終了したことから12万2,</p>

<p>加藤委員長 堀江保健福祉課長</p>	<p>000円減の6万1,000円、8節旅費の子ども・子育て会議委員費用弁償も同様に3万8,000円減の2万円、12節委託料の病後児保育看護師派遣委託料は利用者の増に伴い15万円増で、20日分の20万円を計上、64ページをお開き願います。18節負担金補助及び交付金では、今年度6月に追加補正し、開始した独り親家庭等ファミサポ利用助成金として19万2,000円を計上、次に今年度9月に追加補正し、開始したへき地保育所アレルギー児童副食費補助金として16万2,000円を計上。その他の節においては、前年実績等を考慮し、計上しております。次に、特定財源ですが、63ページに戻っていただきまして、国及び道からの地域子ども・子育て支援事業費を記載のとおり見込んでおります。</p> <p>以上で説明を終わります。</p> <p>保健福祉課長。</p>
	<p>保健福祉課長、堀江よりご説明いたします。</p> <p>64ページ、6目乳幼児等医療費は、対前年度比2,000円減の2,249万1,000円を計上しています。おおむね前年と同額を計上しています。特定財源につきましては、乳幼児等医療費助成事業補助金ほか、記載のとおり見込むものです。</p>
<p>加藤委員長 藤村こども発達相談センター事務長</p>	<p>65ページに移っていただいて、7目未熟児養育医療費は、前年度同額の108万2,000円を計上しています。特定財源につきましては、国及び道からの未熟児医療費負担金と自己負担額としての徴収金をそれぞれ記載のとおり見込んでいるところです。</p> <p>以上で説明を終わります。</p> <p>こども発達相談センター事務長。</p> <p>こども発達相談センター事務長、藤村から8目こども発達相談センター費について説明いたします。</p> <p>本年度3,945万3,000円で、前年度対比374万7,000円の減額で、主な要因は人事異動による人件費に係る予算の減額となったためでございます。1節報酬は会計年度任用職員4人分、2節給料から4節共済費までは職員4名と会計年度任用職員4名分の人件費等を計上、7節報償費から66ページに移りまして21節補償補填及び賠償金までは前年度の実績等に基づき計上したところでございます。65ページに戻りまして、特定財源の内訳は障害児通所支援収入など、記載のとおり見込んだところでございます。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
<p>加藤委員長 三島保健福祉課</p>	<p>健康介護担当課長。</p> <p>保健福祉課健康介護担当課長、三島よりご説明いたします。</p> <p>66ページ、4款1項1目保健衛生総務費は、対前年度比992万1,000</p>

健康介護  
担当課長 円減の5,629万9,000円を計上しております。子育て支援推進費でもご説明させていただきましたが、保健師を1名組み替えたことと人事異動及び会計年度任用職員の制度改正により、1節から4節の人件費と賃金を合わせて前年度比1,005万2円の減の4,170万7,000円を計上、67ページ、12節委託料では介護予防との一体的保健事業としてフレイル予防に注目した家庭訪問事業を保健師などの専門職に委託するため67万円を計上、18節負担金補助及び交付金では帯広厚生病院運営費補助金等を前年度比61万7,000円増の602万5,000円計上、20節、介護士等修学資金貸付金は令和元年度からの貸付け者1名と新規3名を見込み、4名分、120万円減の480万円を計上。他の節につきましては、おおむね前年度同様の額を計上しております。66ページに戻っていただき、特定財源につきましては介護予防と一体的保健事業受託金457万6,000円ほか、記載のとおり見込んでいるところです。

67ページ、2目予防費は、対前年度比1万9,000円増の3,706万7,000円を計上しています。増額の主なものは1節報酬、10節需用費、68ページに移っていただいて、13節使用料及び賃借料で昨年度実施した後期高齢者の医療分析の結果を基に取り組む介護予防との一体的保健事業のための諸経費で前年度51万9,000円増の144万9,000円を計上、減額の主なものとしては賃金、12節委託料で前年度比50万1,000円減の332万5,000円を計上。他の節につきましては、おおむね前年度同様の額を計上しております。67ページに戻っていただいて、特定財源につきましては介護予防と一体的保健事業受託金230万7,000円ほか、記載のとおり見込んでいるところです。

以上で説明を終わります。

加 藤 町民課長。

委 員 長  
藤 内 町民課長、藤内より説明をいたします。

町民課長 69ページ、3目環境衛生費は、予算額2,977万3,000円で、前年度対比233万9,000円を増額するもので、その主な要因は10節需用費の修繕料で土幌聖苑の火葬炉2基のうち、前年度1基の送風機等の交換及び修繕が終了しましたが、残り1基の送風機等の交換及び修繕と遺族待合室の畳及び浄化槽の修繕等を合わせ189万円を増額、17節備品購入費で土幌聖苑の霊台車用バッテリーの交換により7万3,000円を新規で計上しています。その他の節につきましては、実績実績等を勘案し、前年度とおおむね同額を計上しています。特定財源といたしまして、墓地、土幌聖苑使用料及び畜犬登録手数料ほか、記載のとおり合計56万4,000円を充当しています。

以上で説明を終わります。

加 藤 総務企画課長。  
委 員 長

石垣総務 企画課長	<p>総務企画課長、石垣よりご説明いたします。</p> <p>70ページを御覧いただきたいと思います。4目病院費は、前年度対比1億854万4,000円の増の5億750万円を計上したところであります。増額の要因は、20節貸付金で前年度まで補正予算で計上していた運営資金一時貸付金1億円を当初予算に計上したことによる増及び23節、企業債及び医療機器整備への出資金の増であります。特定財源については、愛のまち建設基金及び減債基金繰入金、貸付金償還金、合わせて1億5,069万7,000円を充当するものであります。</p> <p>5目上水道費は、簡易水道事業特別会計への繰出金で、前年度対比2,659万5,000円減の4,603万円の計上であります。水道使用料収入の増額見込みにより減額となったところであります。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>	
加藤 委員長 藤内 町民課長	<p>町民課長。</p> <p>町民課長、藤内より説明いたします。</p> <p>70ページ下段、4款2項1目ごみ処理費は、予算額1億1,517万6,000円で、前年度対比9万9,000円の減額をするもので、前年度とおおむね同額を計上しています。特定財源としまして、一般廃棄物処理業許可申請手数料、ごみ処理手数料ほか、記載のとおり合計2,007万2,900円を充当しています。</p> <p>続きまして、71ページ下段、2目し尿処理費は、予算額700万円、前年度対比121万3,000円を減額するもので、その主な要因は18節負担金補助及び交付金で旧中島処理場の廃止事業の一部終了によるものです。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>	
質疑	加藤 委員長 大西委員	<p>説明が終わりましたので、民生費、衛生費について質疑を行います。ありませんか。3番、大西委員。</p> <p>今大騒ぎしている新型コロナウイルス、この間福祉課からパンフレットが3月の広報の中に交ぎってきました。あれは、今までテレビでいつも言っている方法だと思うのですがけれども、今度検査が保険が利いてできますということになった。どこでするのかなと思ったら、言うところには殺到するから、今朝の新聞にそれはどこの病院でやるかは発表しませんと。保健所に聞かなくてもできるらしいのですがけれども、我々はなつたときどうすればいいのかなと思って、一番困るのだけれども。</p>
	加藤 委員長 堀江保健 福祉課長	<p>保健福祉課長。</p> <p>保健福祉課長、堀江よりご説明させていただきます。</p> <p>基本的には今までと手続としては大きくは変わらない状況です。一般的なインフルエンザの疑い等がある場合は、最寄りの医療機関ある</p>

いはかかりつけ医の方にかかっただいて、経過を見ていただいて、37度5分が4日以上、医療機関にかかっても下がらないというところであれば、保健所になりますが、そちらに問合せをいただいて、PCR検査ができる医療機関を指示をいただいて受診していただくという形になります。

加藤  
委員長

暫時休憩します。

午後 2時55分 休憩

午後 3時00分 再開

加藤  
委員長  
大西委員

休憩前に戻ります。

3番、大西委員。

なかなか複雑な検査をしなければならないようですけれども、いずれにしても町民の命を守るのが保健センターの仕事だと思うので、もしそういう方が病院かセンターでいたら、ぜひ上のほうと、保健所と話し合って、そして町民が分からないときにはすぐ教えてやって、町民が安心するような説明をしてやってほしいなと思います。お願いします。

加藤  
委員長

そのほかありませんか。

(なし)

加藤  
委員長

なければ、民生費、衛生費の質疑を終了します。

本日は、これで予算審査特別委員会を散会します。

明日は午前10時より再開します。

お疲れさまでした。

(午後 3時05分)